

令和6年度 資金の保有状況

(単位：百万円)

運用形態		令和7年3月31日現在		
		帳簿価額①	時価総額②	評価差額②-①
債	券	54,071	51,969	△ 2,101
円建て	国債	499	479	△ 20
	財投機関債	900	879	△ 20
	地方債	200	188	△ 11
	事業債	50,494	48,406	△ 2,088
外貨建て ①	国債	1,680	1,716	35
	国際機関債	295	298	2
株	式 ②	740	1,032	292
投資信託	③	1,682	1,587	△ 94
	国際債券型	487	528	40
	上場投資信託 (REIT)	1,194	1,059	△ 135
定期	預金	8,483	8,483	0
普通	預金	1,571	1,571	0
合	計	66,549	64,645	△ 1,904

注1. ①債券は、規程により格付け基準を定め、A格以上の銘柄を選定しています。

②円建て債券の評価差額は、国内金利の上昇を受けて、マイナスとなっています。
しかしながら、本学園は原則として、債券は満期まで保有することとしており、また、中期的な資金需要のタイミングと債券の満期償還年度を合わせているため、保有する債券は満期保有となります。
したがって、債券の途中売却は行わないことから、評価差額は保有期間中に一時的に発生する数値となっています。

注2. 外貨建ては、米ドルと豪ドルのみを保有しています。

注3. 株式は、1銘柄1億円程度とし、福岡県に本社を置く、大手企業の複数社を分散して保有しています。

注4. 投資信託は、上場投資信託が大半であり、複数社を分散して保有しています。

注5. 運用形態のうち、外貨建て債券、株式、投資信託を「元本変動型商品」とし、帳簿価額合計に占める保有比率を10%以下とする運用を行っています。

①+②+③ : 元本変動型商品

令和7年3月31日時点における、「元本変動型商品」の帳簿価額合計に占める保有比率は、6.6% ≤ 10%となります。